



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 安部 一夫

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,524	1.3	167	20.4	157	25.2	80	33.3
29年3月期第2四半期	8,418	△3.3	139	△65.3	125	△67.6	60	△73.9

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 81百万円 (44.1%) 29年3月期第2四半期 56百万円 (△75.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	37.63	—
29年3月期第2四半期	28.24	—

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,158	6,179	40.8
29年3月期	14,847	6,097	41.1

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 6,179百万円 29年3月期 6,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,240	4.2	390	102.1	360	110.5	140	—	65.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	2,150,434 株	29年3月期	2,150,434 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	11,842 株	29年3月期	11,792 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	2,138,619 株	29年3月期2Q	2,138,786 株

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成29年11月17日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、継続的な政府の経済対策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益や雇用環境の改善も見られ、穏やかな回復基調で推移しました。一方で、個人消費におきましては従前からの節約志向の定着や所得の伸び悩み等により、力強さを欠く状況が続いております。また、海外における政治・経済及び安全保障に関する不確定要素も加わり、先行きは不透明な状況となっております。

外食業界におきましては、業種・業態を越えた競争の激化や牛肉等の原材料価格の高騰に加えて、人手不足を主因とする人件費関連コストの上昇が続いております。また、出店や改装に要するコストの上昇等により、依然として厳しい経営環境が継続いたしました。

このような環境の下、当社グループは経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの提供に努めてまいりました。

また、成長戦略を実現するために、既存店舗のブラッシュアップを積極的に推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高85億24百万円（対前年同期比1.3%増）、営業利益1億67百万円（対前年同期比20.4%増）、経常利益1億57百万円（対前年同期比25.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益80百万円（対前年同期比33.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は1店舗を閉店し、189店舗であります。内訳は直営148店舗、暖簾11店舗、F C 30店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、折込チラシを中心とした広告宣伝費の見直しを行い、メルマガとLINE配信等により、販売促進費の適正化をはかりながら、「夏のアンガス牛フェア」、「夏休みわくわく宝くじ」、「スノーアイスフェア」、「夏の冷麺フェア」、「カナディアンフェア」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアやグランドメニュー改定を行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は70億66百万円（対前年同期比1.7%減）となり、セグメント利益（営業利益）は3億78百万円（対前年同期比21.3%減）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は26店舗であります。内訳は直営23店舗、暖簾1店舗、F C 2店舗であります。

販売促進等につきましては、「肉の日スペシャルクーポン」、「夏の牛タン祭」等、メルマガやLINEでの配信を行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は11億60百万円（対前年同期比8.0%増）となり、セグメント利益（営業利益）は96百万円（対前年同期比209.5%増）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は10店舗であります。内訳は直営5店舗、F C 5店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「開花亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「ロンチャン（中華）」、「AGRICO（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は2億97百万円（対前年同期比90.4%増）となり、セグメント損失（営業損失）は13百万円（前年同期はセグメント利益9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ3億11百万円増加し、151億58百万円となりました。これは、有形固定資産及び敷金保証金の増加等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ2億29百万円増加し、89億79百万円となりました。これは、借入金の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、61億79百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、17百万円増加し、24億53百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上1億31百万円、減価償却費の計上3億1百万円等により5億3百万円の収入となりました。前年同期と比べ39百万円(対前年同期比8.6%)の収入の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2億63百万円、敷金及び保証金の差入による支出2億3百万円、事業譲受による支出90百万円等により5億60百万円の支出となりました。前年同期と比べ1億31百万円(対前年同期比19.0%)の支出の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入5億65百万円、長期借入金の返済による支出3億96百万円等により74百万円の収入となりました。前年同期と比べ1億9百万円(対前年同期比59.7%)の収入の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,436,829	2,454,313
受取手形及び売掛金	355,798	301,705
商品及び製品	131,588	140,691
仕掛品	738	698
原材料及び貯蔵品	633,292	599,133
前払費用	209,303	215,942
繰延税金資産	85,685	84,080
その他	56,768	68,457
貸倒引当金	△745	△471
流動資産合計	3,909,259	3,864,550
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,753,693	2,845,801
機械装置及び運搬具（純額）	99,925	95,560
工具、器具及び備品（純額）	325,201	364,025
土地	5,004,097	5,004,097
リース資産（純額）	93,457	73,826
建設仮勘定	2,551	2,419
有形固定資産合計	8,278,926	8,385,731
無形固定資産		
のれん	—	61,267
その他	127,200	132,787
無形固定資産合計	127,200	194,055
投資その他の資産		
投資有価証券	117,192	119,375
長期貸付金	6,819	6,586
長期前払費用	18,308	18,536
繰延税金資産	32,307	32,041
敷金及び保証金	2,328,021	2,503,093
その他	55,823	60,895
貸倒引当金	△26,455	△26,338
投資その他の資産合計	2,532,019	2,714,190
固定資産合計	10,938,146	11,293,976
資産合計	14,847,406	15,158,527

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	592,989	507,800
短期借入金	768,108	855,240
リース債務	43,312	40,802
割賦未払金	142,260	164,937
未払金	209,985	209,885
設備関係未払金	73,867	48,413
未払費用	496,854	471,940
未払法人税等	140,594	105,663
未払消費税等	67,100	98,908
賞与引当金	82,300	79,200
転貸損失引当金	13,297	13,297
その他	342,893	478,070
流動負債合計	2,973,565	3,074,158
固定負債		
長期借入金	4,471,527	4,553,257
リース債務	57,588	37,187
長期割賦未払金	454,988	511,338
繰延税金負債	103,935	104,288
役員退職慰労引当金	335,491	343,486
転貸損失引当金	62,727	56,079
退職給付に係る負債	202,115	210,005
その他	88,034	89,534
固定負債合計	5,776,408	5,905,177
負債合計	8,749,974	8,979,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	449,883	530,357
自己株式	△70,080	△70,313
株主資本合計	6,099,449	6,179,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,017	△499
その他の包括利益累計額合計	△2,017	△499
純資産合計	6,097,432	6,179,190
負債純資産合計	14,847,406	15,158,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,418,345	8,524,802
売上原価	2,957,791	3,059,038
売上総利益	5,460,554	5,465,763
販売費及び一般管理費	5,321,480	5,298,329
営業利益	139,073	167,433
営業外収益		
受取利息	997	1,019
受取配当金	1,251	1,165
受取地代家賃	5,203	3,548
貸倒引当金戻入額	389	390
その他	25,447	28,124
営業外収益合計	33,288	34,247
営業外費用		
支払利息	40,658	38,531
その他	5,920	5,657
営業外費用合計	46,579	44,189
経常利益	125,783	157,492
特別利益		
固定資産売却益	196	—
受取保険金	30,897	—
特別利益合計	31,094	—
特別損失		
固定資産除却損	1,601	783
減損損失	36,190	6,301
賃貸借契約解約損	—	10,369
訴訟和解金	—	9,000
特別損失合計	37,791	26,455
税金等調整前四半期純利益	119,085	131,036
法人税、住民税及び事業税	57,700	49,003
法人税等調整額	992	1,558
法人税等合計	58,693	50,562
四半期純利益	60,392	80,474
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,392	80,474

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	60,392	80,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,496	1,517
その他の包括利益合計	△3,496	1,517
四半期包括利益	56,896	81,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,896	81,991

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	119,085	131,036
減価償却費	283,545	301,492
減損損失	36,190	6,301
のれん償却額	—	6,807
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△389	△390
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,987	△3,100
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,509	7,995
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△3,768	△6,648
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,956	7,890
受取利息及び受取配当金	△2,248	△2,184
支払利息	40,658	38,531
固定資産売却損益(△は益)	△196	—
受取保険金	△30,897	—
固定資産除却損	1,601	783
賃貸借契約解約損	—	10,369
訴訟和解金	—	9,000
売上債権の増減額(△は増加)	50,936	54,093
たな卸資産の増減額(△は増加)	80,880	28,879
前渡金の増減額(△は増加)	△8,888	718
仕入債務の増減額(△は減少)	△91,441	△85,189
未払金の増減額(△は減少)	20,977	△5,569
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,286	31,807
未払費用の増減額(△は減少)	△9,135	△21,071
預り金の増減額(△は減少)	△15,600	△58,621
前受収益の増減額(△は減少)	△18,753	205,048
その他	5,402	△40,972
小計	450,211	617,010
利息及び配当金の受取額	1,420	1,280
利息の支払額	△44,200	△38,071
保険金の受取額	43,305	—
店舗閉鎖に伴う支払額	—	△8,270
訴訟和解金の支払額	—	△9,000
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	13,467	△59,049
営業活動によるキャッシュ・フロー	464,204	503,898

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△695,121	△263,821
有形固定資産の売却による収入	390	—
無形固定資産の取得による支出	△24,035	△22,125
事業譲受による支出	—	△90,000
敷金及び保証金の差入による支出	△30,885	△203,827
敷金及び保証金の回収による収入	32,149	49,977
預り保証金の返還による支出	—	△3,500
預り保証金の受入による収入	2,500	5,000
関係会社貸付けによる支出	—	△22,986
貸付金の回収による収入	779	780
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	21,856	△10,068
投資活動によるキャッシュ・フロー	△692,366	△560,570
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	560,000	565,000
長期借入金の返済による支出	△285,663	△396,138
割賦債務の返済による支出	△68,114	△73,258
リース債務の返済による支出	△21,842	△21,214
自己株式の取得による支出	△324	△233
財務活動によるキャッシュ・フロー	184,055	74,155
現金及び現金同等物に係る換算差額	141	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△43,965	17,483
現金及び現金同等物の期首残高	2,231,853	2,435,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,187,888	2,453,297

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,187,055	1,075,196	156,093	8,418,345	8,418,345	—	8,418,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,187,055	1,075,196	156,093	8,418,345	8,418,345	—	8,418,345
セグメント利益	481,176	31,190	9,765	522,133	522,133	△383,059	139,073

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては36,190千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,066,672	1,160,935	297,194	8,524,802	8,524,802	—	8,524,802
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,066,672	1,160,935	297,194	8,524,802	8,524,802	—	8,524,802
セグメント利益又は 損失(△)	378,496	96,530	△13,974	461,052	461,052	△293,618	167,433

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては6,301千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、日総開発㈱から1店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては37,666千円であります。

「その他業態」セグメントにおいて、日総開発㈱から2店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては30,408千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。